

「土木の日の集い」が開催されました。

土木の日である11月18日(金)に、恒例の「土木の日の集い」を土木学会関東支部栃木会、栃木県魅力ある建設事業推進協議会及び(財)栃木県建設総合技術センターの3者共催により開催しました。

今年は、『魅力ある建設産業をめざして～マスメディアからの視点』をテーマに基調講演とパネルディスカッションを行い、約400名が聴講に訪れました。

また、これに先立ちまして、土木学会選奨土木遺産に選ばれた宇都宮市水道施設群(今市浄水場、第6号接合井、戸祭排水場)に対し認定証と銘板の授与式が行われました。

土木学会選奨土木遺産認定証授与式



土木学会関東支部栃木会会長の古池(宇都宮大学教授)より宇都宮市上下水道局次長の鈴木様へ授与。



土木遺産選考委員会幹事長の為国(足利工業大学教授)より選定理由の説明をしました。

[今市浄水場]



[第6号接合井]



[戸祭排水場]

基調講演

講師



横島庄治氏

(NPO法人環境システム研究会理事長、元NHK解説主幹)

テーマ

社会資本 “使う時代” へのアプローチ
～ 道路特定財源をモデルに～

社会資本のとらえ直し
設備資本の代表としての道路整備
求められる移動システムの総点検
シーニックバイウェイを公共事業へ
情報公開と公共事業の新しい関係



パネルディスカッション

テーマ

地域からの情報発信における建設産業の役割

コーディネーター

森本章倫氏 (宇都宮大学工学部建設学科助教授)

パネリスト

臼井佳子氏 (栃木放送番組パーソナリティー)

篠田裕次氏 (下野新聞社政経部デスク)

野村明敏氏 (とちぎテレビ報道制作局報道部長)

morimoto

usui

shinoda

nomura

